

様式3 日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

作成基準日	令和4年4月1日	作成担当部署	スポーツ・文化振興課	電話番号	52-2111	代表者	理事長 田崎 登保	
名称等	名称	公益財団法人 日向文化振興事業団		所在地	〒883-0046 日向市中町1番31号			
	設立年月日	平成元年9月29日		電話番号	0982-54-6111	ホームページアドレス	https://hyuga.main.jp/	
資本金	30,000千円	設置目的	文化芸術・スポーツ振興及び交流を図り、魅力ある文化と地域づくりに寄与する		事業(業務)内容	音楽・演劇・美術展・講演会各種イベント等自主企画の実施 文化芸術の振興及び地域づくりのための施設提供など		
	役員数及び給与の状況	役員		役員報酬総額	有給職員(臨時・パート職員は除く)		職員給与総額	
総数		うち市出向者・退職者数	(千円)R3年度	総数	うち市出向者・退職者数	平均年齢	(千円)R3年度	
	14	0	485	6	1	51	23,782	
第三セクターへの関与の状況	(1)公的支援(財政的関与)							
	項目	金額(千円)			備考(目的・内容・算出根拠等)			
		R元	R2	R3				
	① 運営補助金	0	3,956	6,498				
	② 指定管理料	55,668	53,148	53,428				
	③ 貸付金	0	0	0				
	④ その他(業務委託ほか)	2,192	2,195	2,223	自家用工作物保安管理業務、中央公民館ボイラ設備操作点検業務、男女共同参画社会づくり推進ルーム及び市民活動支援センター施設維持負担金			
	合計	57,860	59,299	62,149				
	・ 短期貸付金残高							
	・ 長期貸付金残高							
合計								
(2)人的支援(人的関与)								
(3)その他の取組(その他の課題)								
	・指導・監督の強化 ・情報の公開	所管課と日向文化振興事業団で毎月定例会議を開催 施設内掲示板、ホームページで決算等公開						
法人自らによる経営健全化のための具体的な取組	経営課題	経営健全化策(具体的取組)	取組結果			点検・評価		
	経営形態見直し策(自主事業)	市民ニーズのマーケティングによる効果的な事業実施と周辺自治体類維持施設との連携(差別化)に取り組むなどとして、集客増を図る。また、通年実施している自主事業において事業のあり方等について検討する。新規に建設された施設等に対し、事業案内ポスターの配布を検討する。	ウィズコロナを見据え、感染対策に十分配慮しながら、様々なイベントを実施しました。まず、イベント等との共催で、様々なジャンルの著名アーティストの公演、上映会等を低コストで開催しました。また、国のイベント主催者向け補助金を活用してコンサートを企画開催しました。市民参加型イベントとして、市との連携のもと、国民文化祭および日向市美術展覧会を開催しました。また、市民活動団体等と連携してフラダンスや音楽会等のイベントを開催しました。イベント開催にあたっては、SNSを活用して広く情報発信を行いました。			<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 令和3年度も厳しい集客実績となりましたが、約8割の自主事業に取り組みられたことは評価できます。 収益面でリスクの高いイベントでも、市民ニーズに応じて開催する場合もあると思われ、補助金を活用するといった工夫を継続していただきたいと思ひます。 今後、ウィズコロナの中で、自主事業の開催は、感染状況による住民の行動意欲や感染症対策、入場者数の制限などこれまでと変更となることも多いため、総合的な分析を行いながら、費用対効果を考慮した開催に取り組んでいただきたいと思ひます。 また、市民を対象としたイベント情報などについては、分かりやすいホームページの改修と新着情報の随時更新など、情報発信力の強化が必要です。		
	経営形態見直し策(貸館事業)	貸館事業において、市民ニーズに応えた料金設定見直しや学校教育及び生涯学習、文化連盟、体育協会等各種団体との事業連携の強化など営業活動の促進を図る。接客へのクレームに対しては、職員研修を重ねるなどスキルアップを図り、改善に取り組む。	令和3年度の施設利用率は、令和2年度と比較して若干回復したものの、コロナ禍前の6割程度にとどまりました。貸館利用向上に向けて、営業活動を強化するとともに、各種割引制度等の導入についても検討を進めたいと考えています。また、学校教育関係、文化連盟と連携したイベントの掘り起こしも進めたいと考えています。接客については、職員一人一人が丁寧な応対を心がけています。また、令和3年度に舞台業務委託業者が更新されて以降、接客クレームは受けておりません。			<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 課題となっていた委託業務の見直しを図り、経費削減に取り組まれたことは評価できます。 一方で、貸館事業については電子申請やキャッシュレスの導入等のデジタル化への取り組みが遅れていると思われ、予約方法が窓口持参であることは改善の必要があると感じます。 コロナ禍においても施設の機能を最大限に活かし、利用者の利便性向上が図られる貸館事業の研究に取り組んでいただきたいと思ひます。		
	経営体制強化策	財団職員等の業務分担を見直し、効率的に運営できるようにしていく。	職員の役割分担を明確にし、業務に対する責任体制を強化しました。また、定型業務のアプリケーション化を進め、業務の効率化を図りました。			<input checked="" type="checkbox"/> 十分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 業務のアプリケーション化や役割分担の明確化に取り組む、業務の効率化や職員の意欲向上が図られたことは評価できます。 引き続き、職員のスキル向上に努めていただくとともに、人事評価制度を導入するなど新たな取組についても検討していく必要があると思ひます。		
実績検証見直し	事業計画(目標数値)に対する実績等の検証とその改善に向けた取り組みについて、定期的な会議を開催する。また、自主文化事業の拡大に努め、市民の文化振興を図る。	毎月職員会議を開催し、事業内容、進捗状況、事業の収支決算報告を行い、職員間で情報を共有するとともに、今後の事業の方向性、内容などの見直し等についても意見交換を行っています。			<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった コロナ禍で経営が厳しい中でも、自主事業の開催や業務の効率化について、職員間での情報共有や意見交換の効果が出ているように感じます。 引き続き、より多くの利用を促すためにも、利用者の感想、ニーズの把握、状況の確認を行っていただき、職員の経営参画意識や職場環境の向上を図っていただきたいと思ひます。			
市による財政的具体的な取組への対応のための	市との企画検討	企画及び事後評価委員会に参加し、企画内容の検討を行う。	市との定期的な運営会議の中でも、事業内容、進捗報告を行い、市との情報共有とともに、今後の事業についても意見交換を行っています。			<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 市との連携は重要なことですので、引き続き、意見交換は継続されてください。 ウィズコロナの中で、利用者の考え方も大きく変化していると思われ、安心して来館できるような対策について、他館の先進的な取組を調査していただきたいと思ひます。 また、自主事業の企画にあたっては、若者など第三者の意見を取り入れる仕組みづくりや地域を巻き込んだ取組を期待します。		
	進捗確認	毎月、運営協議会を開催し、事業進捗の確認や検証を行う。	毎月、財団職員と市の担当職員で運営会議を開催し、事業報告、施設管理、経営状況の確認のやり取りを詳しくおこなっています。			<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 施設の老朽化対策が問題視されています。施設の延命化を図るためにも専門家の意見を参考にしながら、今後の利活用の方法等も検討した上で、大規模修繕の必要性や中長期的な課題について取り組んでいただければと思ひます。		

財務状況	貸借対照表	金額(千円)			損益計算書・正味財産増減計算書	項目	金額(千円)		
		R元	R2	R3			R元	R2	R3
		資産合計	54,837	51,160			52,365	経常収益	88,228
負債合計	13,518	9,061	10,409	うち市からの補助金・委託料	57,860	59,299	59,926		
資本合計	41,318	42,098	41,955	経常費用	92,013	67,435	90,536		
累積欠損金				経常利益(損失)	△ 3,785	780	△ 143		
				当期利益(損失)	△ 3,785	780	△ 143		
指標関係	指標(数値目標)	R元実績	R2実績	R3目標	R3実績	R4目標	R5目標		
	財務指標	当期利益(千円)	△ 3,785	780	100	△ 143	100	100	
		流動比率(%)	104	102	100以上	100	100以上	100以上	
		施設利用料金収入(千円)	15,759	5,605	19,000	10,633	19,000	19,000	
	活動指標	利用者数(人)	81,401	16,621	83,600	31,410	82,500	81,200	
		大ホール稼働率(%)	36	10	45	26	45	45	
		小ホール稼働率(%)	34	10	60	27	60	60	
		マーケティング調査実施回数	4	4	4	4	4	4	
		自主文化事業実施回数	18	3	15	16	15	15	
		参加創造型事業実施回数	7	0	5	3	5	5	
	定例会議実施回数	12	12	12	12	12	12		
財務・活動・成果指標取組結果	<p>令和3年度も、コロナの影響による休館措置の時期もあり、昨年度に引き続き厳しい施設運営となりました。令和3年度利用料金収入については、昨年度よりは改善しましたが、コロナ禍前の2/3程度にとどまったため、日向市の指定管理者経営継続助成金を申請し、経営安定を図りました。</p> <p>自主文化事業については、ウイズコロナでの新しい生活様式の意識も少しずつ浸透しており、感染対策を万全に講じたうえで、予定していた8割の自主文化事業を開催することができました。また、開催した事業の内2件は、国(I-lodlive)と文化庁(AFF)のイベント主催者向け補助金を活用することができました。施設管理につきましては、老朽化が著しく進んでおり、修繕費用が拡大しています。日向市とともに長期的な改修計画の策定を進めています。</p>								
第三セクター経営検討委員会点検評価総括	<p>コロナ禍の中で、自主事業の改善や業務の効率化に取り組まれていることは評価できます。</p> <p>一方で、コロナ禍による住民行動の変容や社会全体のデジタル化の加速など社会が大きく変化する中で、若い世代の意見を取り入れる仕組みづくりやデジタル化など、これまでと違った視点で事業を展開し、施設の稼働率を高める工夫が必要です。</p> <p>また、利便性の向上や利用者の拡大を図るためにも予約方法が窓口持参という点は、改善する必要があると思われます。</p> <p>施設改修については、多額の費用が見込まれますので、資金面ではガバメントクラウドファンディングなども含め、引き続き、市との連携を図り検討していただければと思います。</p>								
	第三セクター経営検討委員会による経営検討結果	B	<p>⇒ A 経営努力を行いつつ事業は継続</p> <p>⇒ B 事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要</p> <p>⇒ C 事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要</p> <p>⇒ D 深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要</p>						
第三セクター経営検討委員会点検・評価結果を踏まえた意見	市	今後の方向性	A	<p>⇒ ア 経営努力を行いつつ現状のまま存続</p> <p>⇒ イ 事業内容等の見直しを行った上で存続</p> <p>⇒ ウ 再建を行いつつ存続</p> <p>⇒ エ 廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡</p> <p>⇒ オ その他()</p>					
	日	今後の取組について	<p>コロナ禍による利用状況の影響は、若干の回復要素が見られるものの依然として終息の見通しは遠く、困難な経営が続いています。これまでは、国の持続化給付金や市の経営継続助成金などにより、大幅な経営状況の悪化は避けられているものの、しばらくの間は、利用に関して厳しい状況が続くと思われます。</p> <p>毎月、市と事業団とで開催している運営委員会で開催可能な企画を検討しながら、できるだけ特定の利用者に偏らない多くの市民が参加できる企画に取り組むなど、適切な事業支援を行っていきます。</p>						
	益	今後の取組について	<p>自主事業については、今後さらに、SNSを活用した情報発信を強化し集客へ繋げていきたいと考えています。特に若い世代の意見を取り入れる仕組みとして、ホームページやtwitterを活用した取組を検討します。</p> <p>利用者の利便性向上のため、施設の空き状況閲覧や予約、抽選申込み等をオンラインで利用できる施設予約システムを導入する必要がありますと認識しており、市全体の公共施設予約システム導入計画の中で検討を進めています。システムが導入されるまでの間、利用者がわざわざ窓口まで出向かなくても予約ができるよう、FAXやメールでの申請書受付についても積極的な運用を図っていきます。</p> <p>施設改修については、市とともに長期的な改修計画を随時見直しながら、費用の低廉化、平準化を図っていきます。</p>						
その他特記事項									